

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第6報）

PCR検査陽性であった看護職員の発症日から11月18日で14日目となりました。この間の方針として、当該病棟全患者様と職員に発熱等の症状があればPCR検査を実施する事とし、健康状態の観察を継続してまいりました。

11月14日には発熱の症状があった患者様1名を当日より個室隔離とし、11月15日に発熱の症状があった患者様2名についても同様の措置をとりました。この3名に対して、11月15日に抗原検査を実施し、全員陰性を確認いたしました。この経緯を11月16日に保健所へ報告し、PCR検査を実施、これも全員陰性であったとの報告を受けました。また、11月17日から18日にかけて発熱の症状があった別の患者様1名につきましても抗原検査を実施し、陰性を確認いたしました。その他計43名の患者様と病棟職員につきましても発熱の症状などは確認されず、全員無症状で経過しております。

11月19日に保健所に経過報告をおこない、この度の新型コロナ感染症につきましては一応の終息と判断いたしましたが、第3波の襲来で予断を許さない状況が現在も続いていることを鑑み、引き続き、患者様と職員の健康状態の観察を継続しつつ、院内感染予防対策を実施してまいります。

医療法人社団明心会 あおば病院

理事長 三浦 大介